

姫路港広畑地区国際物流ターミナル整備事業 費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	1.9	千円/トン年	輸送距離の短縮等による輸送コスト削減効果(林産品①)	4.3	億円/年
		2.5	千円/トン年	輸送距離の短縮等による輸送コスト削減効果(鉱産品①)	11.0	億円/年
		4.0	千円/トン年	船舶大型化による輸送コスト削減効果(林産品②)	6.4	億円/年
		12.8	千円/トン年	輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果(鉱産品②)	2.3	億円/年
		299.7	千円/台	輸送時間の短縮便益	28.5	億円/年
		29.8	千円/台	輸送経費の減少便益	2.8	億円/年
	交通事故の減少	2.7	千円/台	交通事故による損失額減少便益	0.3	億円/年
残存価値	残存価値	26.7	億円	ふ頭用地の残存価値 (評価期間の最終年に計上)	26.7	億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	岸壁(水深14m)、航路・泊地(水深14m)、泊地(水深14m)、臨港道路、ふ頭用地